

会員の皆様に寄り添いながら、課題解決へ向けてチャレンジする1年へ 当所議員新年会が開催されました

館林商工会議所議員新年会が1月8日（木）、館林市の日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールにおいて開催された。当所役員・議員など約180名が出席し、新年を祝した。

正田会頭は、「今年の干支は丙午（ひのえ・うま）で、多くの人にとって勢いと活力に満ち、挑戦が実を結ぶ年年です。昨年の改選において引き続き会頭として三期目を担うこととなりました。昨年中はスポーツなどの明るい話題がありつつも、世界は不安定な情勢が続いています。今年も会頭就任以来の信念である、会員満足度の向上、会員拡大及び財政改善、職員の育成の3つの基本姿勢を揺るぎなく貫きます。そして、会員の皆さまに寄り添いながら、課題解決に向けてチャレンジしていきたい。」とあいさつした。

続いて、山本県知事、多田市長をはじめとした来賓の方々より祝辞をいただいた。その後、新年会恒例の正田会頭と多田市長によるダルマの目入れが、初お披露目となる'26ミス館林フラワーレディのアシスタントのもと行われた。

式典終了後には、会場を文化会館に移して立食形式での懇親会が行われた。年男年女による鏡開きが続いて群馬県東部振興局 柴野局長の音頭で乾杯がなされ、参加者たちは懇親を深めていた。



1月18日（日） 仲町交差点付近にて

新春恒例！ 初市（だるま市）が開催されました



新春恒例、館林の初市（だるま市）が1月18日（日）、仲町交差点周辺で開催され、縁起物のだるまを買い求める市民ら約二万人で賑わった。

初市は市繁栄と産業振興を図るため、130年以上前から開催される伝統のあるイベント。本年は会場を昨年よりも大幅に拡大し開催。仲町通りの総延長380メートルで実施し、露店もだるま商や飲食の屋台108店が軒を連ねた。

当日は天候にも恵まれ、日曜日の開催ということもあり、会場には家内安全を願う家族連れや、商売繁盛を願う経営者、合格を祈願する中高生らがダルマを求め訪れた。屋台で販売された唐揚げやらくがきせんべいを頬張るなど、多くの来場者たちが新春の祭りを楽しむ姿が見られた。

19日（月）には会社や自宅などに一年間飾られ、願掛けの終わっただるまへの感謝の気持ちを込めて、だるま供養が行われた。

